

## 平成23年度公共事業事前評価調書（簡易型）

(土石流被害の防止による評価)

(区分)  国補  県単

事業名	治山事業 [復旧治山事業(国補)]	事業箇所	南巨摩郡 身延町 大島	地区名	さかいざわ 境沢	事業主体	山梨県
<p><b>(1)事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b> 本箇所は、南巨摩郡身延町大島地区に位置する一級河川富士川の左支流であるが、台風15号による集中豪雨により渓流から土砂が流出し、JR身延線の線路路体を押し流した。現在、渓流内には不安定土砂が堆積し、土石流発生の恐れがあるため、土砂流出防止対策を早急に実施し、下流保全対象の保護を図る必要がある。</p>				<p><b>(3)事業の妥当性評価</b></p> <p><b>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b> ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当 <input checked="" type="radio"/></p> <p><b>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</b> ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備 <input checked="" type="radio"/></p> <p><b>③経済妥当性</b> 費用便益費 便益(B)/費用(C)=<math>2.47 &gt; 1.0</math> ・便益(B)= 503百万円 費用(C)= 204百万円</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> ・流域内は治山堰堤が未整備ある。砂防等同等施設の計画はない。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効 <input checked="" type="radio"/></p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> ・切土盛土面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> ・地元身延町及び南部町からの強い要望あり</p> <p>&lt;妥当性評価&gt; ・7項目全て妥当であることから、妥当と判断する</p> <p><b>(4)事業間優先度評価</b> ・貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴優先度評価 S.I.</p> <p><b>総合評価</b> ・(3)及び(4)の結果から「最優先で実施」</p>			
<p><b>(2)整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b> 谷止工5基</p> <p><b>②整備期間</b> 平成24年度～平成26年度</p> <p><b>③総事業費</b> 220百万円 (国費110百万円(5/10) 県費110百万円(5/10))</p> <p><b>④全体計画</b> 平成24年度 谷止工2基 80百万円 平成25年度 谷止工2基 70百万円 平成26年度 谷止工1基 70百万円</p> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b> 平成23年度 谷止工1基 130百万円</p>				<p><b>【事業位置図等】</b></p> <p style="text-align: right;">省 略</p>			